

視聴覚教育

NO. 330
発行日 19. 2. 10
発行 岡崎市AVL
編集 現職研修委員会
学習情報部

視聴覚用語
「バックアップ」
プログラムやデータなどのファイルも、別の記録メディアにコピーして保存すること。元のファイルを入れたディスクが壊れても、コピーしたファイルが残る。市販のバックアップ用ソフトウェアを用いれば、内容を変更したファイルだけを追加コピーできる。



「金かんがっきの音をききくらべましょう」
六ツ美西部小学校 服部 晃峰
「Speaking Plus2」
食卓で、ものをすすめる」
新香山中学校 宮城 夏美
「みほちゃんの学校たんけん」
六ツ美中部小学校 大嶋 扇帆
「手の洗い方」
岡崎小学校 安藤由香利
「うさぎ小屋をピカピカにしよう☆」
城南小学校 石原 理恵
「心がけよう！しせいチャンプ☆」
矢作南小学校 清水 和美
「はじめての木材加工しげがき・切断編」
六ツ美中学校 加藤 光

第4回ふるさと岡崎

メディアアコンクール結果発表

第4回ふるさと岡崎メディアアコンクールが行われ、昨年を上回る応募総数一五三三の応募がありました。その中から、第一次・第二次審査を経て、次のような結果になりました。おめでとうございます。

【生涯学習部門】

●最優秀賞（教育長賞）

●優秀賞

「豊職人の技」

●優良賞

「大峰高原の大カエデ」

●入選

「アブラゼミの羽化」

【学校教育部門】

●最優秀賞（教育長賞）

「筆順の友」

根石小学校 竹内 昭博

該当なし

矢野 正義

岡崎市小丸町 峰沢 幸広

細川小学校 津坂 秀子

●優秀賞

「顕微鏡の使い方」

「現代版 算額」

「図書館の本を借りよう」

「リコーダーの達人になろう」

「せみの誕生」

「福中 土呂音頭」

「芭蕉の旅した『おくのほそ道』」

「本多博士の日に……」

「宮澤賢治の世界へ」

「Is this your change?」

「常磐賢治の世界へ」

「上地小学校」

「河合中学校代表 内藤利江子」

「矢作南小学校」

「常磐南小学校」

「英中学校」

「常磐小学校」

「山中小学校」

「本宿小学校」

「福岡中学校」

「竜南中学校」

「中野 真理」

「飯田 祐子」

「安立 賢介」

「河内 靖恵」

「長田 知恵」

「香村久美子」

「伊藤 研治」

「渡辺位千代」

「香名 治美」

「安藤由香利」

「石原 理恵」

「清水 和美」

「加藤 光」

「保健委員会」

「内田 智文」

「天野 智規」

「羽根潤高弘」

「森 慎太郎」

ライブラリー tapes

●平成18年度新規購入ビデオ

今年度購入したビデオ、DVDソフトです。ぜひ活用ください。

絵本 読み聞かせシリーズ（全5巻）

自然はともだち（全8巻）

たのしい科学教育映画シリーズ（全8巻）

子どものうつ病 その症状と対処法

3丁目物語（全2巻）

ファイナルファンタジー（全2巻）

たろうシリーズ（全2巻）

生きる 動物に学ぶ（全8巻）

アニメ名作シリーズ（全9巻）

高校入試 面接の攻略

はつきりことわろう 誘拐されないぞ

ぜったいゆうかいされないぞ！

MOTTAI NAIで地球を守ろう

桂春団治 心の手話落語（全2巻）

みるみる社会科 映像資料集（全27巻）

昭和30年代の生活と文化（全4巻）

はじめての妊娠・出産・育児（全3巻）

いのちを学ぶ 生きること死ぬこと

学校生活を快適にすこすためのルール

デジタル時代の著作権（全2巻）

認知症は予防できる

映像教材についての予約・検索は「教材・

教材予約システム」をご利用ください。

【視聴覚ライブラリー】 <https://www.oavl.jp>



「宇宙人クロボチャの野望」
竜海中学校 加藤 貴士

「六ツ美中学区の神社」
六ツ美中学校 代表 熊谷 充洋

「私たちの学区の文化財 岩津天神」
岩津中学校 代表 加藤 拓也

「岩津の特産物をもとめて」
岩津中学校 代表 廣山 達己

「学校へ行こう」
六ツ美北部小学校 代表 安田 陽香

「テニスクイズ」
竜海中学校 代表 天野 佑基

「SUPER 伍戦」
竜海中学校 代表 高橋 寛行

「クイズ The 都道府県」
竜海中学校 代表 甲木 健太

「むらさき麦」
藤川小学校 代表 早川 宗弥

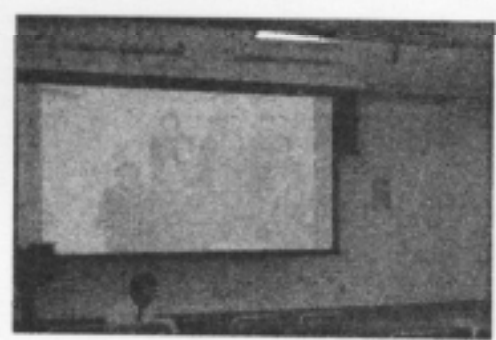
「井田小ミニメント紹介」
井田小学校 代表 木野瀬さくら

「実践報告 II」

「視覚を通して歌声を意欲する合唱指導」

甲山中学校 教諭 光田 健

文化祭合唱コンクールの練習に向けて、ビデオカメラを利用した実践を行った。生徒たちが歌っている姿をカメラで撮影したものを、プロジェクターで投影する。子供たちは自分の姿を見ながら、歌の練習を進める授業である。目的



前に鏡をおいてこのようなトレーニングを行うことは多いが、その方法だと歌っている自分と目線があってしまうことや、左右が対称になり実際に歌っている状態とは違ってしまうといった欠点がある。クラスでの合唱練習という授業内容を考えた際、ビデオカメラを使用するほうが有効だと感じた。生徒たちは始め、自分の歌う姿が見えることにとまどい、恥ずかしがっていた。しかし、練習が進むにつれて、精一杯歌う他生徒の様子を見ることで、自分の歌い方に次第に着目できるようになってきた。「僕は他の人と違って妙に横にゆれていて、変な風に目立っていたのだと思います。そこからもっと下半身をしっかりとって、前後に少しゆれるくらいにした方がいいと気づくことができました。」自分の歌う姿を客観視し、より良い歌い方になりつつあった。また、この実践を通して、学級集団として歌う姿に意識を向ける様子が、生徒の中で高まっていくことが感じられた。合唱指導の中でビデオカメラの鏡的な利用を進めることは、集団のモラル（士気）を高める意味でも、有効であることが感じられた。